



森林ボランティア

「オホーツクの会」だより NO. 27

第11回「オホーツクの森」ボランティア育樹活動への参加



小学生への作業指導をしました

6月12日、森林整備のお手伝いとしてボランティア団体や関係機関と端野小学校や常呂小学校の5年生など148名がオホーツクの森に集まり、昭和61年に植樹したアカエゾマツの枝打ちを行い、午後から森林散策と山菜とりに分かれ自然を楽しみました。

当会からは11名が参加し両小学校生の作業指導をしました。普段、山に入ることが殆んどない子供たちは、見るもの触るもの全てに興味を示していました。

作業では、なれないノコ使いに苦戦していましたが、これも貴重な体験として心に残ったことでしょう。



(オホーツクの会のみなさん)



(枝打作業)
子供たちの感想



(開会式)

ノコギリで枝を切る時は、押す時と引く時では、切る感触が違いました。

木にまきついてへびみたいな枝がありました。細いのは、すぐ切れるけど、太いのは力をいれておもいっきり引かないと切れませんでした。

会場はセミがすごく鳴いていた。ぱっさいの時初めて白い樹液を見た。思ったより木を切れなかった。

自然素材の作品づくりに多くの人を楽しみました

5月16日～18日サンドーム北見に於いて「木のフェスティバル」が開催され木製品などの展示販売が行われました。

今年も常呂川森林ふれあい推進センターのブースにおいて、市民の方々に森林への関心を高めてもらう目的で、ボランティア活動のパネル展示や入会勧誘活動をしました。

会場では北見工大の学生や日赤看護大の学生、どこ竹会員の応援を頂き、タネの模型飛ばしや松ボックリを利用したクラフト、竹トンボづくりなど多彩なイベントに大人から小さな子供まで多くが集まり自然素材の工作を楽しんでいました。

(工作の帰り、子供が外で松ボックリを拾っていました)

—ご協力をいただいた会員—

吉田（正）、植村、金村、小島、長谷川、角、吉田（昭）、栄



(吹き矢)



(フクロウ作り)



(フクロウと笑顔)



(竹とんぼ作り)

一木のフェスティバルのボランティアに参加して一

日本赤十字北海道看護大学 1年 渡邊麻依子

私は今回の木のフェスティバルにボランティアとして参加しました。そこで、ラワンの種子やアルソミトラの種子を模した物の工作を、子供から大人までの沢山の人と一緒に作りました。物を作る楽しさは勿論、多くの人との触れ合いの中で自分も楽しむことが出来、また私自身学ぶこともできました。最初は私の不十分な説明で綺麗に飛ばず、ボランティアの方々に手伝ってもらっていましたが、徐々にコツが掴めるようになり、綺麗に飛ばしてお客さんとお互いに楽しむことができました。子供だけではなく、大人の方々にも興味をもっていただけてとても嬉しかったです。また、ボランティアの方々に自然について教えていただく時間もあり、手作りのノートは分かりやすく書かれていてとても勉強になりました。

ボランティアの方々が優しく、親切だったので楽しい2日間を過ごせました。また、私は北見に来て間もなかったので、北見市民の方々と触れ合い、温かさを感じる良い機会となりました。ありがとうございました。



(ネーム作りを手伝う渡邊さん)

第1回活動 オホーツクの森で草刈をしました

5月31日(土)森林づくりの一環として、新緑のもと森の家周辺と育樹開会式予定地の2班に分かれ草刈をしました。

森の家周辺では手鎌と電動刈払い機(長南さん)で草刈をしました。手鎌作業には看護大生3名も加わり慣れない作業に汗を流していました。

一方、育樹開会式予定地では手鎌のほかエンジン刈り払い機2台(栄、小原さん)による草刈とハシゴづくりや小原さんのチェーンソーによる風倒木処理などが行われました。

昼食は轡田さんと角さんが作った美味しいブタ汁を頂き、看護大生や仲間との会話などで楽しいひと時を過ごしました。

午後は、ウド、ワラビを採り家路にきました。

ご協力頂いた会員11名(多数のため氏名省略させていただきます)

※手鎌は事前に長谷川、小島、吉田(正)によって研磨していただきました



(手ぬぐい巻いて仕事する渡辺さん) (持ち込みの電動刈払い機の長南さん)



(ウドとワラビの記念撮影)



(蛇)

第2回活動 古の森散策路草刈

6月22日（日）現地は長雨の影響で草丈が一気に伸び始めた状況でしたが比較的柔らかく草刈の適期でした。

参加者は刈払い機の長南さん栄さんを初め、手鎌の小川、金村、吉田（昭）、吉田（正）さんが約1 kmを草刈りしました。

素敵によみがえったコースにやりがいを感じた活動となりました。きれいになった散策路は活用される事でしょう。

平成26年日本赤十字病院看護大学実習お手伝い

6月27日、看護大1年生85名を対象に北見市野付牛公園で授業の一環として”常呂川森林ふれあい推進センター”による現地実習が行われ、当会から吉田（昭）、栄、吉田（正）、植村、がガイドとして参加しました。

ー参加した学生の声ー

桑の実を初めてたべた。

ガイドの話がおもしろくわかりやすかった。

普段、自然の体験が少ない学生にとって身近にあつた自然生態に感動するとともに興味を示す授業となったことでしょう。将来関わるであろう看護関係の職業に少しでも役立てて頂ければ幸いです。



（すわってガイドする栄さん）



（見上げてガイドする吉田（昭）さん）



（あるいてガイドする吉田（正）さん）



（指さしてガイドする植村さん）

—オホーツクの森づくりと森林散策に参加して—

日本赤十字北海道看護大学 1年 渡辺麻依子

私は今回、オホーツクの森づくりと森林散策に参加しました。午前中は、自然再生モデル林で笹刈りとシカ等食害防止シートの修繕を行いました。初めてで不安もありましたが、皆さんに優しく教えていただいたので、楽しみながら行うことができました。食害防止シートの乱れ具合から、付近の動物の行動や生活に触れることができ勉強になりました。

午後からはバスで移動して、幌岩山の上にある展望台まで散策をしました。その間、この地の自然や植物について沢山のことを教えていただきました。散策道には珍しい植物がいくつかあり、ギンリョウソウ（幽霊茸）を初めて見て、その美しさに感動しました。自然を観察しながら、あっという間に展望台に着き、サロマ湖を見たときは本当に圧巻でした。遠くに斜里岳を幽かに見ることもでき、当日は快晴で景色がとても綺麗でした。オホーツクの大自然を感じ、これからもボランティアに積極的に参加し、多くの人や自然に触れたいと思う良い機会になりました。



(刈払い中)



(シートの修繕)



(散策中)



(展望台)

第1回勉強会



(講義中)



(勉強中)



(検討中)



(感想会)

7月6日網走市こまば木の広場において、オホーツクみどり検定の試験対策と会員の森の知識増強のため勉強会を行いました。

会員9名とみどり検定試験を受ける一般の人2名が参加しました。

植村さんが講師となりそれぞれの木、草等の特徴等を講義しました。また、この木はこの公園ではここにしかない木で、場所と名前を丸暗記するといったなど、裏の試験対策もひろうしていました。

最後の本日の感想会では、試験受験予定者からは、大変よかった、ただ試験に向かってまだ不安、以前の試験受講者からは何度も問題をやった、人に話すと覚えられるなどの会話がありました。

みどり検定とは、オホーツクみどりネットワークの活動目的達成に向けた検定で樹木や野の花などを判別するものです。

7月13日に試験が行われオホーツクの会からは4名が検定試験にいどみました。

結果は、マスターが1名、1級が2名、3級が1名でした。
オホーツクの会での今後の活躍が楽しみです。

オホーツク森林フェスティバル

7月11日から13日、網走市駒場木の広場において、森林に関心を持ってもらい、緑を守り育てる輪を広めることを目的に「オホーツクみどりネットワーク」主催の「オホーツク森林フェスティバル」が開催されました。

当会と常呂川森林ふれあい推進センターからは、松ぼっくりを材料としたフクロウや竹とんぼなど訪れた人々に自然材料による工作を楽しんでもらいました。

また、ミニ森林ウォークのガイドも行いました。参加者は、普段からこの広場を利用されている方々が多く、町の中にある自然豊かな公園の素晴らしさを再認識されていました。

参加協力者

鞆師、角、吉田(昭)、吉田(正)、金村、小島、長谷川、栄、轡田、小原



(パネルを見る人)



(竹とんぼ作成中)



(ニポポも参加)



(ミニ森林散策会)

子供探検隊



7月26日(土)オホーツクの森で”常呂川森林ふれあい推進センター”との共催で子供探検隊を行いました。

北見市内の小学生24名が参加し、森の中を子供だけのグループを作りお互いに助け合いながら決められたコースを探検しました。

子供達は一諸に行動する仲間との相談や協力がスムーズにできるようにするための環境づくりとしてアイスブレイクで、”心の壁を下げる”親しい仲間づくりから初めました。

探検に当たっては安全確保のための見守り役として番人等に会員が当たり、子供たちは無線機で探検隊長等と交信しながら、森の中を興味深げに探索していました。

探索以外には立木を利用したブランコやターザンロープ遊び、倒木の橋を渡るなど楽しんでいました。

一方、森の家内外では松ぼつくりのフクロウづくり、パチンコづくりをしました。楽しい夏休みの体験となったでしょう。

協力いただいた方

角、吉田(昭)、吉田(正)、小島、長谷川、植村、佐々木



(ターザンロープ 1)



(ターザンロープ 2)



(ブランコ 1)



(ブランコ 2)



(探検 1)



(探検 2)



(川遊び)



(薪切り)



第2回勉強会

日時 平成26年9月15日(月)
場所 チミケップ湖の散策路
内容 10月5日に予定している森林散策会の下見と会員の森林に対する知識増強のため勉強会
8時に常呂川森林ふれあい推進センター集合
8時30分に常呂川森林ふれあい推進センター発
なお、会員の自家用車で乗り合わせでいきます。
参加希望者は、9月10日まで事務局に連絡ください。

第2回森林づくり塾

日時 平成26年9月20日(土)
場所 津別町木材工場
集合場所 常呂川森林ふれあい推進センターからバスがでます。
集合時間 9時30分
内容 「森」で育てられた木材がどのように加工され、木材製品として利用されているかを学習するため木材工場の見学を行います。
参加希望者は、9月12日(金)までに常呂川森林ふれあい推進センターに連絡ください。

パネル展示等(森へおいでよパネル展)

日時 平成26年10月4日(土)~10月13日(月)
場所 北見市緑のセンター
内容 会員の活動のパネル展示、会員の木工品等展示
竹とんぼ作り(10月4日から10月5日)と
(10月11日から10月13日まで)
木工クラフト作り
(10月11日から10月13日まで)
募集 展示物を募集します。また、準備等のお手伝いもお願いいたします。

森林散策会

日時 平成26年10月5日(日)

集合場所 常呂川森林ふれあい推進センター前からバスが出ます。

集合時間は常呂川森林ふれあい推進センター 8時
出発 8時30分

常呂川森林ふれあい推進センター 16時着

散策場所 チミケツプ湖の散策路

内容 風致地区に指定されている天然林の森林を植物や動物の多様性に触れながら、森林浴のためのコースをガイドと共に散策します。

参加希望者は9月25日(火)まで氏名と電話番号を事務局へ連絡ください。



森林ボランティア「オホーツクの会」事務局

北海道森林管理局
常呂川森林ふれあい推進センター内

〒090-8588 北海道北見市北斗町3丁目11-3
平日 8:30~12:00 TEL 0157-23-2960
13:00~17:15 FAX 0157-26-2144



(会報の発送作業中)